

四谷の

千枚田だより



第134号

環境整備活動

十月五日、保存会は環境整備活動の一環としてふれあい広場と千枚田入口周辺の草刈り作業を実施した。

当日は東海地方を狙う台風十八号の影響で朝から降りしきる雨の中、全会員二十六名が出役した。

(台風は、翌朝八時三十分、浜松市に上陸。最大瞬間風速五十キロを維持、首都圏に被害をもたらした。)

生い茂る草も濡れているため切れ味もよく、作業はスムーズに捗った。作業終了後、ふれあい広場に集結した会員は「草刈りも年に二回は草丈が茂ってしまい作業も大変だし、見てくれも悪い。三回刈ったらどうだん」とか「ベンチ周辺は除草剤を撒かまいかん」など、棚田を思う保全意欲が垣間見られた。(舜)も毎週一回トイレ掃除に来て千枚田を眺望、常々思っている「全国田んぼ飛び大会」をやったら面白いのがのん」と話題提供したところ全員が「おもしろい、昔はよくやったも

んだ、やって見まいかん」と話しが白熱。裾野に広がる棚田を

眺めながらコースまであだ、こうだと空想を描きまくった。本当に楽しい連中たちだ。

何かとお世話になっている海老浦川新聞店の哲っちゃんも参加していただき感謝。また、頼むのん。



先月号に続いている愚痴であるが「小水力発電」の完成記念に植栽し

たツツジやアジサイが雑草の中にも判るようにと園芸用の棒を目印に立てた。その棒二十六本が何者かによって抜き去られてしまった。

今年の出来ぐわい

各地で異常渇水が続くなか、千枚田の水源は湧水のため水不足は回避できたが稲の開花(交配)期の一番大事な時期にまるで梅雨のような天気が続き、日照不足から実入りも悪く、ウンカやカメムシの異常発生に悩まされた。聞くところによると、どの百姓も例年になく「しいな」が多くて参っちゃったようだ。

また、イノシシやサル、挙句にシカまでも田んぼに出没、夜中に軽トラのクラクションを鳴らしたり爆竹やロケット花火で威嚇してもイノシシのほう賢く、効果が薄い、シーズンを通すと、威嚇する花火でも馬鹿にならない。電気柵はそれなの効果があるが、トタンは好きなのか、何故か打ち破り侵入するケースが目立った。今年のイノシシの特徴的な傾向は険しい沢からの侵入が多く、(舜)の「さるはぎ」二十二全部が多かれ少なかれ被害を被り、口の悪い連中は「よっぼど、米が旨いか、イノシシを沢山獲った罰だ」など、勝手なことをほざくが当事者

としては泣くにも泣けず、被害に遭うぐらいならと脱穀したところ、近所のはぎに被害が移り、皆んな、慌てて脱穀を行った次第である。



サミット

十月二十三〜二十四日、第二十回全国棚田(千枚田)サミットが山形県上山市で開催され、鞍掛山麓千枚田保存会から小山泰弘、今泉雅男、高橋孝行、松下誠、小山舜二が出席する。なお、中島先生をコーディネーターに実践者による「棚田保存会意見交換会」には(舜)が出席する。

連谷地区大運動会

九月二十日、連谷地区大運動会が開催された。

在校生四名に來賓、中学・高校生、保護者、消防、老人会、校区住民など百名を超す参加者で大運動会を盛り上げた。

競技種目では小・中学生、高校生、保護者、教職員の四チーム対抗の「全力リレー」では予想通り教職員チームがビリっ尻であった。また、四名の児童が織りなす一輪車の演技には拍手が鳴りやまなかった。

来年、一年生となる松下佑翼君も堂々と競技に参加した。



ビオトープ

横浜ゴム新城工場は企業が二酸化炭素削減に貢献していることで評価されている。

そもそも、横浜ゴムと千枚田は新入社員研修が取り持つ縁でかれこれ十年のお付き合いが続いており、広葉樹の育苗の敷き藁として環境にやさしく育てた稲藁を高価格で買っていただき棚田の百姓は大喜びである。



同社は自然環境を重視、千枚田の小沢の生物モニタリング調査を三年間継続、本年から千枚田の二か所でビオトープを造成、モリアオガエ

ルやヤマアカガエル、ドジョウ、タニシなどの拡大、生物多様性を視野に取り組みを開始した。

視察研修受け入れ

十月八日、岡崎市土地改良連合会役員等二十六名、市農地整備課担当職員三名が視察に訪れた。

高低差二百メートル、総面積三、六ヘクタール戸当たり十二アール、平均十五枚を二十二戸の農家が耕している。獣害が悩みの種などと棚田の厳しさを説明した。一行は同じ百姓でもえらい違いだ、面積では我々一戸分にも満たないが労力的には大変苦勞していることが判る。歴史的遺産の存続、継承に行政支援があつてしかるべきだ。とありがたいアドバイスをいただいた。

脱穀

十月九日、豊橋調理製菓専門学校一年生は田植え、田の草取り、稲刈り、はざ干しを終え、育農の体験学習最後の脱穀を行った。

脱穀後は身平橋集会場を会場に学校で学んだ多彩な食材を用いて調理、お世話になった地元のお母さんたちと豊作に感謝の気持ちを表した楽しい食事を催した。

なお、この体験学習は第二十回全国棚田(千枚田)サミットに学校、保存会、行政の取り組み事例として市地域整備課から報告される。



今後の予定

- ・十月十九日、ふるさとウォーキング&グラウンドゴルフ
主催 連谷公民館
- ・十月二十七日、第二十二回三遠南信サミットがアクトシティ浜松を会場に開催。(舜)が出席する。
- ・十一月六日、ふるさと・水と土指導員連絡会議が豊田市「どんぐりの里いなぶ」を会場に開催。原田英史、(舜)が出席する。

行 平成二十六年十月十五日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二